

関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158

<http://www.rinyamaff.go.jp/kanto/>



岩岳山シロヤシオ



瀬尻ホソバシャクナゲ



岩岳山アカヤシオ

希少個体群保護林（瀬尻ホソバシャクナゲほか）
撮影者：天竜森林管理署

- 「日本美しい森 お薦め国有林」の紹介 保全課・・・2
- 小笠原諸島森林生態系保護地域利用講習会について 計画課・・・4
- 高尾の森から 高尾森林ふれあい推進センター・・・5
- 森づくり最前線 塩那森林管理署 伊王野森林事務所 森林官 浅子 竜一・・・6

「日本美しい森 お薦め国有林」の紹介

計画保全部 保全課

国有林では、優れた自然環境を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツなどに適している地域を「レクリエーションの森」とし、多くの方の保健休養の場としています。

中でも特に優れた自然景観を有し、観光資源として魅力ある箇所は、林野庁が平成29年度に「日本美しい森 お薦め国有林」に選定しています。関東森林管理局管内では15箇所が選定されており、展望台等からの眺望を確保するための修景伐採、歩道の整備、多言語による標識類の設置やモロサイトの整備を重点的に進めています。

平成29年度は、茨城県の奥久慈自然休養林や群馬県の野反自然休養林、東京都の高尾山自然休養林で歩道や多言語看板の整備を行いました。また、静岡県飛竜橋自然観察教育林・千石平風致探勝林で修景伐採などを行いました。

今回は、その中から「野反自然休養林」をご紹介します。

野反自然休養林は、群馬・長野・新潟の3県の県境に位置し、2,000m級の山々、森林、草原などが一体となった自然景観を有し、野反湖(標高1,513m)が中心に位置します。

キャッチフレーズは、「天空の水面にかがやく森と花園の野反湖」です。

野反湖は、水力発電を目的として1956年に建設された日本初のロックフィルダム(土や岩石を盛り立てて造られるダム)による人造湖です。湖水は信濃川水系に属し、日本海に注いでいます。

野反湖の周囲は、シラネアオイ、レンゲツツジ、ノゾリキスゲ、コマクサ等、300種類を超える高山植物の宝庫で、春から初秋にかけて、訪れる人を楽しませてくれます。

秋には、ダケカンバ、ナナカマド等の亜高山帯の森林が見事に色づき、燃えるような紅葉が鮮やかに湖面を彩ります。

野反湖周囲の歩道は「遊歩道百選」、湖自体も「ダム湖百選」に選ばれています。

野反自然休養林へは、車で気軽に訪れることができ、休憩所や展望台、案内所が整備されています。湖畔を周回する遊歩道は、年齢を問わず散策を楽しめます。駐車場から湖畔に向かう遊歩道の一部は、老朽化が進んでいたため、昨年、木製の階段と手すりを新たに設置しました。



多言語看板

※グレーの部分にスマートフォンをかざせば、英語、中国語、韓国語、日本語で音声案内



修景伐採前 (飛竜橋自然観察教育林)



修景伐採後 (飛竜橋自然観察教育林)



野反自然休養林の遠望



新たに整備した木製階段

平成30年度は、多言語の案内板を設置する予定です。訪れる皆様により分かりやすいものとなるよう、内容も工夫することとしています。

湖畔にはキャンプ場があり、5月上旬から11月中旬まで利用できます。バンガローエリアとテントエリアがあり、バーベキューやアウトドアスポーツも楽しめます。

周辺には草津温泉や四万温泉等、多数の温泉があり、これらの地域から日帰り観光が楽しめます。冬季は積雪のため閉鎖され、半年間の眠りにつきますのでご注意ください。

「日本美しいの森 お薦め国有林」では、訪れる皆様が快適かつ安全に楽しんでいただけるよう、引き続き環境整備を進めていくこととしています。

平成30年度は、福島県のブナ平自然観察教育林や御池森林スポーツ林、茨城県の奥久慈自然休養林、群馬県の武尊自然



ダケカンバ林とシラネアオイ
(野反自然休養林)



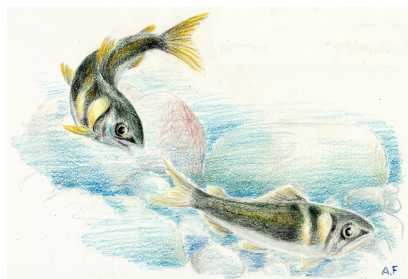
野反湖とノゾリキスゲ
(野反自然休養林)



ブナ平自然観察教育林のブナ林

休養林、東京都の高尾山自然休養林、神奈川県の高尾山自然休養林、静岡県の飛竜橋自然観察教育林・千石平風致探勝林や奥浜名自然休養林などで、修景伐採、歩道や多言語看板の整備を計画しています。

「日本美しいの森 お薦め国有林」に関する情報は、林野庁ホームページに掲載されています。トップページのキーワードから「日本美しいの森(レクリエーションの森)」を選択してみてください。旅の一助にいただければ幸いです。



アユ(鮎)

10~30cm。川底の石についた藻を食べ、餌場へ侵入する魚を体当たりで追い払う。この習性を利用して「友釣り」が行われる。



高尾山自然休養林のもみじ台園地



奥久慈自然休養林の
日本三名瀑・袋田の滝

今月の表紙
希少個体群保護林(瀬尻ホソバシヤクナゲほか)

天竜森林管理署管内には、原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護等を目的とする保護林が8箇所設定されていて、このうちの7箇所が希少個体群保護林となっています。

「瀬尻ホソバシヤクナゲ」は、浜松市天竜区龍山町の瀬尻国有林に設定されている希少個体群保護林に自生するものです。この保護林は人工林の成長に伴い光環境の改善が必要となっていたことから、モニタリング調査や保護林検討会議での検討を重ね、平成28年度に上層木の間伐を行いました。

「岩岳山アカヤシオ・シロヤシオ」は、浜松市天竜区春野町の岩岳山周辺の国有林に設定されている希少個体群保護林に自生するものです。

どちらもゴールデンウィークの頃に開花し、訪れる人を楽しませてくれます。



小笠原諸島森林生態系保護地域利用講習会について 計画保全部 計画課



指定ルートを歩く観光客

小笠原諸島は、東京の南南東約1000kmに位置し、週一回の定期船「おがさわら丸」で所要時間24時間です。父島をはじめ、30余りの小さな島々からなり、総面積は10,435ヘクタールです。これまで一度も大陸と陸続きになつたことがなく、独自の進化を遂げた貴重な動植物が数多く生息・生育しています。平成23年には世界自然遺産に登録されました。

一方で個々の島々が小面積であるが故に人間活動や外来種の影響を受けやすく、島独自の生態系を維持していくことが困難な地域でもあります。関東森林管理局は、小笠原諸島の国有林6,613ヘクタールを管理しており、その84%に当たる5,579ヘクタールを平成19年に「小笠原諸島森林生態系保護地域」に設定しています。森林生態系保護地域は、林野庁が全国各地に設定している保護林の一種で、我が国を代表する原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育する森林を保護することを目的としています。

平成20年には、小笠原諸島の原生的な自然を劣化させず後世に残すとともに、人間活動等により劣化した自然を回復させることを目標に、科学的な保全・管理を行っていく上での指針となる保全管理計画を策定しました。その中で、森林生態系保護地域への無秩序な入り込みによる植生衰退が進まないよう、立入りは指定したルートに限定するとともに、利用講習会を受けた者の同行を条件とするなど、新たな利用ルールを導入しました。利用講習会では、森林生態系保護地域に立ち入る際のきまりや指定ルートの種類、固有種の保護・保全、外来種駆除・拡大防止に関する啓発、安全対策や関係法令等について、担当官から説明し、適正な森林利用への協力を呼びかけています。

利用講習会は、現地の父島・母島だけでなく、関東森林管理局東京事務所でも定期的に開催しています。これまでの受講者数は、小笠原の森林で活動する島民や環境教育指導者、自然ガイド、調査・研究者など、5千人以上にのぼります。利用講習会の受講希望は、メールやFAXで受け付けています。詳細は、関東森林管理局のホームページ (http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publics/ale/keikaku/300410_ogasawara_kousyu.html) をご覧ください。



観光客への普及啓発活動



利用講習会を受講したガイドによる説明



利用講習会



高尾森林ふれあい推進センターでは、多くの方に森林や林業に対する理解を深め、森林に親しんでいただくため、高尾山の国有林を活用して、様々なイベントを行ってまいります。今回は平成30年度の春期の活動を紹介します。

【森林カレッジ】

今年度第1回目の森林カレッジを5月19日に実施しました。参加者は、一般公募し、29名の方に参加いただきました。一般社団法人森林・自然環境技術者教育会会長の桜井尚武先生に講師をお願いし、午前中、森林の多面的機能や日本の森林植生のお話、森を守るにはどうすれば良



森林カレッジ（講義）

いのかといったことなど、幅広く丁寧に解説していただきました。

午後は、高尾山に登りながら樹木の特徴や人工林の育て方などについて解説していただきました。当日は天気にも恵まれ、カレッジ生からは、「様々な角度から森林を見ることができた」「今後も林業について学びたい」等の感想をいただきました。森林カレッジは、7月、10月、1月にも開催する予定です。

【森林教室】

教育機関等からの依頼を受けて実施している森林教室は、春期は8回実施しました。4月26日に中央区立佃島小学校5年生115名、5月17日・18日に横浜市立谷本小学校6年生75名、5月22日に八王子市立みなみ野君田小学校5年生121名、6月1日に小平市立小平第二小学校若草学級1〜6年33名、6月4日に横浜市立羽沢小学校5年生84名、6月8日



森林カレッジ（実習）

に八王子市立みなみ野小学校5年生95名、6月13日に東村山市立化成小学校5年生96名、6月14日に横浜市立茅ヶ崎東小学校4年生141名が参加しました。

佃島小学校、みなみ野君田小学校、羽沢小学校、みなみ野小学校、化成小学校、茅ヶ崎東小学校の皆さんは、大平国有林にある森林ふれあい館で、森林や林業について講義を受け、丸太切り、森林散策を体験しました。谷本小学校と小平第二小学校の皆さんは、伏せ焼き・ドラム缶焼きによる竹炭づくりや森林散策、丸太切りを体験しました。森林散策では最初、森林の中に入るのを怖がっていた子供たちも、森林散策後は「楽しかった」「もつと歩きたかった」等の声があちらこちらで聞こえていました。

学校関係のイベントは参加人数が多いため、職員だけでなく、フォレストサポータースタッフ（FSS）のお手伝いをいただ



森林教室（森林散策）

いて対応しています。FSSとは、ボランティアでイベントの実施に協力してもらっている方たちで、今年度は37名の方にお願いしています。FSSの皆さんには、子供達への植物の解説や丸太切りの指導など、森林教室の実施に積極的に関わっていただいています。

【協定イベント】

森林ボランティア団体と協定を締結し、それぞれの団体に創意工夫をこらしたイベントを実施してもらっています。

今年度は、森林インストラクター東京会、森とでんえん倶楽部、DAIGEHコロジーク、森と人のネットワーク、高尾パークボランティア会の5団体と協定を締結しています。春期は、8回のイベントを実施し、300名を超える方に参加いただきました。今年度は年間40回を超えるイベントを開催する予定です。



協定イベント

森づくり最前線

塩那森林管理署 伊王野森林事務所 森林官 浅子 竜一



道の駅の水車

私が勤務している伊王野森林事務所は、栃木県北東部の那須町にあり、那須町と大田原市の国有林を管理しています。管理する国有林は、栃木・福島・茨城の三県にまたがる八溝山地に位置します。

「伊王野」は、伊王野氏の城下町として栄えたところで、霞ヶ城の城跡公園に咲く藪椿や葦沢の彼岸花群生は訪れる人々を楽しませてくれます。国の重要文化財の金銅阿弥陀如来立像を安置する専称寺をはじめ、多くの寺社仏閣や民話に生きる北向き地蔵などもあり、三蔵川の清流に沿った山里には二ホンカワウソがひっそりと息づいているとの噂もあります。



磯上のヤマザクラ

で、水車につながる石臼で挽いた、おいしいそばをいただくことができます。道の駅の中のまつり伝承館には、11月2・3日に行われる伊王野秋祭りで見られる屋台が展示されています。

大田原市両郷(磯上)には推定樹齢300年以上、幹周囲4.3メートル、高さ17メートルのヤマザクラの巨樹があります。毎年開花の時期にはライトアップされ、多くの人が訪れます。昨年、管内北部にある旧東山道の追分明神に隣接する国有林にヤマザクラを植栽しました。見頃を迎える15年後には是非訪れてみてください。



生産事業実行箇所
(造材作業38林班)

上がスギ・ヒノキの人工林で、主伐期を順次迎えています。一年を通じて伐採と植林を循環的に行い、木材の安定供給に取り組んでいます。資源の循環利用を進めていく上で、作業の効率化、省力化が不可欠なことから、福島県境の山神国有林では、伐採から、地拵、植付までを高性能林業機械を使って連続して行う「一貫作業システム」に取り組んでいます。

当地域は、民有林も多く、県道、市町道、林道がよく整備されていて、林内へのアクセスが良い一方で、沢や道下にはゴミが捨てられている箇所が多く、片付けが大変です。また、近年は、林内で共に仕事をする人手の確保が困難となっていて頭を抱えています。このため、事業予定地の



造林箇所

事前調査や境界の見まわりなどの業務は、近隣の森林事務所と連携して行っています。経験で培った技術や知識のある先輩方と現場に行く機会を生かして、自分自身のスキルアップに役立てています。

当森林事務所に来て、1年が過ぎました。先日は、隣接する茨城県大子町で木質バイオマス発電所が稼働を開始するなど、地域の木材需要に大きな変化が見られます。管内の状況を的確に把握しながら、地域のニーズに応えられる森づくり、木材供給に取り組みでいきたいと考えています。

発行所 関東森林管理局
編集 総務課
TEL(027) 210-1158
FAX(027) 230-1393